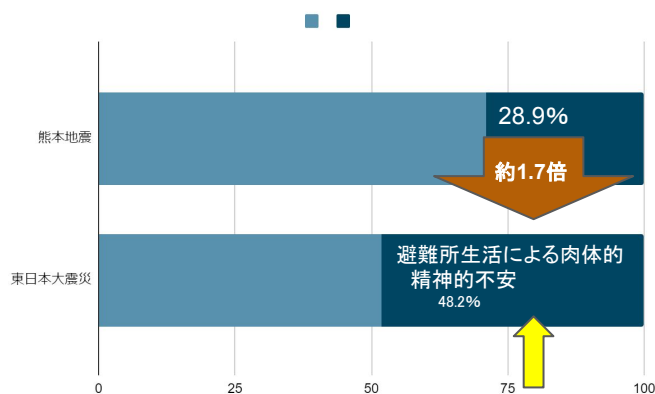


災害時により良い避難所生活を送るためには

気仙沼高校 5619A班

I. 序論

【背景】地震による災害関連死が多いことを知る
そこで...原因の内訳・どちらも冬に起きた
熊本地震と東日本大震災で比較する



東日本大震災の方が避難生活の肉体的・精神的不安の割合が大きいことがわかる

【仮説】食事・睡眠・防寒対策の3つを整えることが出来たら災害関連死を減らすことができるのではないかと

II. 本論

【方法】

1. 気仙沼高校の備蓄倉庫を調査
2. フィールドワーク
 - ・防災主任 N教諭
 - ・東北大学災害研 S准教授
3. 文献調査

以上の3つの方法を通し、立てた仮説の課題を見つける

参考文献

2021年11月29日(月) 朝日新聞
<https://www.nkk.or.jp/kaisetsu-blog/700/3106068.html>
factory-agent.com/articles/material/1385_fumakilla.jp/foryourlife/50/
避難所 段ボール <https://fastalert.jp>

III. まとめ

【結論】

実際に私たちが仮説を検証することは難しい
そこで結果をふまえた私たちの改善策を提案する

○食事

- ★非常食のほかにキッチンカーの使用
- ⇒温かい食事が食べられる+面白みがある

○睡眠

- ★段ボールベッドを利用し高さを30cm以上にする
- ⇒コストがかからずに床からの冷気やほこりを吸うことを防げる
 - ・軽く、組み立てが簡単
 - ・リサイクルができる
- ★段ボールの仕切り1.5mをつけることもオススメ
- ⇒設置するのに時間がかかってしまうがとても容易なものを使用すれば、時間もあまりかからず、プライバシーを確保する事ができる

○防寒

- ★アルミシート・ホッカイロの利用
- ⇒軽くかさばらない
 - ・安全に暖がとれる
 - ・コストがあまりかからない

【結果】

【私たちが立てた仮説について
あがった課題】

- 食事について
 - 加熱調理ができないため食事の質が悪くなる
 - ⇒温かい食事の確保
- 睡眠について
 - ほこりが立つ
 - プライバシーの確保
 - 歩行する際の地面の揺れ
- 防寒について
 - 毛布やストーブの保管場所の確保
 - 小さい子供にストーブが危険

であることがわかった